

# 事務事業チェックシート

事務事業No **12236** 事業名 **博物館施設維持管理事業**

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	博物館施設維持管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 博物館 前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	博物館の運営・維持管理を円滑に行う。		博物館法に基づき、博物館の運営・維持管理を行う事業であり、博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策を実行する事業。		
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
	博物館の運営・維持管理を行う。また、「博物館基本計画」の策定に着手する。	博物館の運営・維持管理を行う。また、「博物館基本計画」を策定した。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。	博物館の運営・維持管理を行う。博物館基本計画に基づいた博物館のリニューアル等の施策に取り組む。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	32,293	31,357	33,704	42,789	32,581	49,297	30,359	0	30,359	0
伸び率(%)	△63.6%	△57.5%	4.4%	36.5%	△3.3%	15.2%	△6.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	6,927	6,927	6,848	7,166	6,516	4,965	6,594	0	6,594
	正規職員以外	2,874	2,874	1,981	3,888	5,091	5,137	4,827	0	4,827
	小計	9,801	9,801	8,829	11,054	11,607	10,102	11,421	0	11,421
国庫支出金	1,100	907	0	6,013	0	2,801	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	4,200	0	0	0	0	0	0
その他	1,660	584	1,642	561	1,159	1,077	1,343	0	1,343	0
一般財源(税等)	29,533	29,866	32,062	32,015	31,422	45,419	29,016	0	29,016	0
所要人数(人)	正規職員	0.86	0.86	0.86	0.90	0.84	0.64	0.85	0.00	0.85
	正規職員以外	0.96	0.96	0.61	1.45	2.00	2.13	2.09	0.00	2.09
主な予算内訳	管理委託料18,452千円 光熱水費7,801千円 所々修繕料260千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
施設	施設の修繕箇所数	箇所	目標値	0	0	4	4	
			実績値	2	6	6		
			達成度(%)	0%	0%	150%	%	
成果指標	入館者数	人	目標値	16000	18000	18000	18000	
			実績値	17397	10382	7569		
			達成度(%)	109%	57.7%	42.1%	%	

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	昭和60年11月の開館以来、本格的な施設の改修やリニューアルは行っていなかったが、平成30年度には、空調機器の入れ替え改修工事を行い、デマンド監視システムを導入し、令和2年度には玄関ホール・常設展示室の天井照明のLED化により節電にも取り組んでいる。
見直し・改善内容	平成30年度と令和2年度に施設の一部の改修を行うことができたが、他の設備が老朽化による劣化が進んでいる。今後、令和2年度に策定した「博物館基本計画」に基づき、博物館のリニューアルの実施等魅力的な博物館となるように取り組んでいく必要がある。